



完成見学会

4月11日(土)・12日(日)

午前10時～午後5時

木の可能性は想像を超えて、
本物の住まいへと誘う。

ずっと長持ちする家とは、人にもやさしい「呼吸する家」

昔ながらの家が居心地が良かったのは、季節を上手に採り入れ自然素材を適確に使い、建物を呼吸させる技術があったからです。

この先人達の知恵を礎に、現代の家づくりに生かした「呼吸する家」とは、無垢板、天然塗料、珪藻土の塗壁、畳のイ草、無垢の荒床、床下の木炭のそれぞれが呼吸することで、健やかで自然な暮らしを営むことができます。
このように「呼吸する家」こそが私たちが忘れかけている木の家の原風景ではないでしょうか。

春原木材が推奨する天然の木質纖維（リサイクル紙）を原料とする断熱材「セルロースファイバー」は、「自然な心地よさ」を感じさせる、人にもやさしい「呼吸する断熱材」と言えます。高い断熱性能を持ちながら、湿気を吸ったり吐いたりして、自然に室内の空気をゆっくりとコントロールします。隙間なく壁体内部や天井裏に吹き込むことが可能で、見えない部分で発生する結露を抑え、カビや腐食を防ぎ、家の骨格となる構造体をやさしく守り続けます。



外壁は南九州の火山灰（シラス）の塗壁で、マグマにより超高温で自然焼成された、自然素材の呼吸する壁材です。温度変化や風雨、高い消臭性と吸湿性、保水性、ガス吸着性などに優れ、その効果は長期間持続します。

機能性に優れた自然素材を用いる「呼吸する家」は、構造材はもちろん、家を構成する素材がより長持ちすることで、耐久性に優れています。春原木材はこうした「呼吸する家」づくりにこだわり続けています。

次回見学会 のお知らせ

■2会場同時開催

4月25日(土)

26日(日)

午前10時～午後5時

※詳しくは下記HPをご覧ください。

■長野市松代町小島田

自然素材をふんだんに用いた本物の木の家。



■長野市平柴

平屋の本格的和風住宅。匠ならではの技の結集。



Facebookで
チェックしてね

■最新の情報や様々な話題などを取り上げています。
春原木材のフェイスブックもご覧ください。情報満載！

TEL.026-278-4111



未来へ伝える木のぬくもり
株式会社 春原木材

〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5 ホームページ <https://sunohara-kinoie.jp>